

進木

進木【すぎ】・・・『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



2024年5月 発行

「いじめ」について、みんなで考えました…

「いじめ」をなくすことは夢物語ではないんです…

前号に引き続き、4月に実施した「いじめ防止推進授業」のみなさんの想いを一部紹介します。ぜひ、通信[第4号][第5号]を読んでください。そして、杉中から「いじめ」をなくしましょう。

①「いじめ」をなくすために『あなたができること』・『クラスができること』とは…前号[第4号]

②「いじめ」について、自分が感じたこととは…本号[第5号]

③本時の感想

「嫌だ」と思うラインは1人1人違うと思いました。なので、これ、嫌？、と直接聞いておたり、「嫌だ」と思っていることに気づけるようにしようと思います。そして、自分が「嫌だ」と思うことは絶対に人にしないようにしようと思えました。イライラするのはしょうがないことだけれど、人の悪い所を見るのではなく、良い所を見るようにすればいい。めにならぬという事がわかりました。これを1人1人が意識すればクラスのいじめは起きないと思えました。

③本時の感想

いじめかどうかを判断するのは難しいが、そうかもしれないなと思ったら放置せず、誰かに聞いたたり相談したりするなど小さなことでも何か行動を起こすようにしたい。また、まずはいじめの起らない良い友達関係を築いていくことが大事だと思うので、これから1年間はより気を付けていくようにしたい。

③本時の感想

いいクラスにするためには、「いじめがない」は絶対の条件だと改めて思いました。今日考えた、自分やクラスができることを実行できるようにします。また、もし、クラスだけでなく、学年でいじめかも、思ったら相談するようにして、いいクラス、学年をつくらしていきたいと思います。そして、まずは自分がいじめのないことを絶対に守ります。

③本時の感想

日頃から、いじめとか、仲間外れ、ケンカが起らないようにと考えてきたつもりでしたが、少しのなんの気がない発言も、相手を傷つけていることがあるんだと、初めていじめについて考え直そうと思えました。このクラスで良かったと思える仲がいいクラスを目指して頑張りたいです。

いいクラスにするためには「いじめがない」が絶対条件。

③本時の感想

これまでいじめの定義や詳しく考えたことはあまりなかったけど、本時でそのことについて改めて考えさせられたし、理解することができた。これまでは、「いじめなんか関係ないし、起らないでしょ」とかろく考えていたけど、いじめはいつなるときにおっってもおかしくないことが分かり、他人尊にしたらダメだと感じました。

③本時の感想

こういう授業をして、やられてる側が悪いと思う人がいるけれど、いじめはなくなる人だなと班の話し合いを聞いて思った。

いじめはどのような理由があっても決して許されることはいない行動であり、見つけたら誰かに言うべきだと感じました。

裏面に続きがあります

③本時の感想

いじめはどんな理由があってもやっつけてはいけないことだから、もしいじめを見かけたりとめる勇気はないけれど先生に報告をしたりするなどはできるだけいじめをなくせるようにがんばろうと思った。1人1人いじめに詳しいの気持ち(いじめだと思える基準)が違うから、今回配られたパンフレットを読んで気持ちと統一できた方がいいなと思った。いじめているつもりはなくても相手が傷ついているからいじめになってしまうから気を付けた。傍観者(見てみぬふりをする人)もいじめに加わっているからいじめはできるだけとめるようにしたい。

人の悪い所ではなく、
良い所を見つける。
「いじめ」はどんな理由
でも許されない。

③本時の感想

自分がいじめを受けたり、いじめを受けている人を見つけたときは、その人によりえてあげたいし、先生や大人に相談することが大切だということも学びました。傍観者もいじめの判事になることにおどろきました。人のことで好きじゃないとが、さういって感じる人があつたときはその人のいい所を見つけることが大切だと思います

③本時の感想

いじめられている人がいて、いじめている人に自分もされるのがこわいから、いじめられている人にならなくて自分もきつづけることはせたいとダメだと思った。いじめられている人が相談しやすく、クラスを作る、自分からそのこのために行動できることかなければ、せめてそのこのみかたになろうと思った。

③本時の感想

今まで、自分はいじめについて、その子がいやな気持ちになつたりすればいじめになると思つていて、けど今回の授業でいじめについて学んで、その子がいじめられているとはんたんとするだけでなくその子が思つていなくて周りの見ている人がいじめだと思つたら、もうそれはいじめだといふことに気づけたので、これからそれを覚えて、今までもやっつけていけなくて、仲間はずれにしたりしないように気を付けていこうと思った。

自分の行動を見直す。
杉中で「いじめ」が減る。(無くなる)

③本時の感想

学校は自分だけで生活している場じゃないし、たくさんの人がいるから常に自分以外の人の気持ちを考え、行動するべきだと学んでた。相手の良いところを見つけて終わるのではなく、良いところをほめて褒めて話を広げれば、もっと良い関係が築けるのではないかと考えた。

いじめを止めに入るのは難しいし、勇気がないとできないことだけど、何か行動して、いじめがなくなればいいなと思つました。いじめ防止を覚えていきたいと思います。

③本時の感想

自分はいじめているつもりはなくても相手が苦痛を感じていたらそれはいじめにあたるので、相手がどう感じるのかを考えて発言するようにしたいと思つた。相手のことが苦手だと感じたり、こういう部分がいやだと感じたりしてしまうことは止められなければ、それを口を態度に出すのは自分で決められるので相手を傷つけないような行動をしていきたい。

③本時の感想

この授業を聞いてよりいじめはよくないと感じました。もしいじめなどを見つけた時注意出来る勇気が大事だと思つた。このような事をクラス全体、学年全体、学校全体で話し合えば杉中学校でのいじめが減る(無くなる)と思つた。いじめをいつまでも無くしていきたい。

今は「いじめた子も悪い」ではなく「いじめ行為が悪い」と言われていてその人それぞれが思つていかなことかあるかもしれないと人と人といじめをしている人のことを考えていると気づきました。あといじめをしている人がいなくなるといっていいけれどいじめられている人は助けを求めている人がいなくなると助けをあげようと思つた。

③本時の感想

「いじめをしない」とばかり言っているけど、観衆や傍観者の立場には分からないところになっているかもしれないから、いじめを見つけたら、すぐに先生に報告しようと思つた。加害者よりも、傍観者の方がきついな、自分のオチを活かせないようにして観衆もやばいなと思つた。だから、自分の行動をみなおそうと思つた。様々な事例を見て、いじめだと思つても、いじめやないと思つてもいいけど、理不尽な事もあるものもある。いじめってよく分からなくて、いじめが自分のお手前です。自分はいじめに関わる人にはなりたくない。でも、いじめに関わる人がいたら止めたい。



- ～目的～
いじめが身近にあることを意識して行動する。【ジリツ】杉中でいじめをなくし、安心・安全な場にする。【共生】
- ～応募方法～
①classroom「いじめ防止ポスター」にPDFにて投稿
クラスコード【4rpejx2】
②デザインは自由(絵、イラスト、写真、文字など)
※作成方法は自由(タブレットアプリ、手がきなど)
- ～応募期間～
2024年6月3日(月)から6月28日(金)17:00まで
- ～審査方法～
教師と生徒による審査
- ～審査基準～
・誰が見ても傷つかないもの。
・「いじめ防止」のメッセージが込められたもの。
・著作権や肖像権に配慮しているもの。
- ～受賞作品～
応募の中から5作品を選び、選ばれた生徒は校長先生より表彰状の授与。校内の掲示をします。

たくさんのお応募をお待ちしています